

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後クラブともだち		公表日 2026年2月27日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園跡地を借り受けての事業運営であるが、空間の広さが異なることもあり、活動の内容に合わせて使い分けができていているように感じる。また、静かな環境として図書室を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童が多い。そのためゆっくと児童が休息をとるスペースがないことがある。 ・スペースはあると思うが、支援が適切に行える環境ではない。 ・構造化が不十分と感じている。死角が多い。 ・必要に応じて個別の対応を行う際のスペース確保に苦慮している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の質の向上が必要 ・新規利用希望児の多さや希望される利用頻度等ボリュームがかなり大きい。 ・職員数はあるが、子どもの突発的な行動に対応できる職員が少ない面がある。 ・配置人員だけの問題ではないと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5		<ul style="list-style-type: none"> ・さらに構造化が必要である。大人数の場所が苦手な児童には場面に応じパーテーションなどの仕切りなど改善が必要。 ・もう2, 3区切れた空間があると良い。 ・町が管理する幼稚園跡地の建物を改修して使用しているため、不便を感じることは多い。 ・教室ごとの目的はある程度決まっているが、障害特性がさまざまな児童がいる中、十分な構造化がされていないように思う。 ・各部屋の使い方については分化し、分かりやすくするにはしているが、使いにくい構造になっている面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	5		<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層が広く、手洗い場などは使い勝手が悪い。 ・虫が多い。洗面所が低い。 ・老朽化と合わせて清潔とは言えない部分がある。こどもの人数が多く、上靴ははいていない児童も多く、ほこりだけでも多くなっている。トイレはピカピカに毎日している。 ・徐々に難しくなってきた（より個別化が必要となってきた）。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で使いたい時は、子どもたちに声をかけ、了承を得てもらおうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の使用による児童の心の安定や気持ちの切り替えなどは有効と感じているが、実情として児童数が多いのでそういった環境が整えられるわけではない。 ・個別の部屋はないため、部屋から移動してもらおうになっている。もう少し仕切りをするなどが必要である。 ・子どもが言うことはできるが、使用できる場所がいつもあるとは限らない。

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・各種会議や日々のミーティングなどで情報の共有や支援に関する意見交換などを行っている。 ・会議や毎日のミーティングなどから情報共有や検討を十分に行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・評価表以外にも、日々の保護者のお迎え時に本人の様子を伝えたり、面談なども必要に応じて設定している。 ・自己評価だけでなく、面談や送迎時などにも逐次伺っている。 ・保護者会で意見をもらっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・会議やミーティングの中で意見交換などを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・運営協議会など	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・学びの希望はきいてもらっている。	・各種研修には参加は可能。ただし現場の支援体制などにより調整が必要な場合がある。 ・いつどんな研修を受けられるか、キャリアプランとして明示されるとより良いと思う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・個別支援会議を経て、共通認識を持ったうえで保護者に説明を行い、同意をいただいている。可能な場合は児童本人にも説明を行い署名をもらっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	3		・年齢にもよるが、児童本人からのニーズは身近なもので具体的なものが多い。一方、計画作成に関しては児童の日々の暮らしやその中での困りごとの解消などの視点を持つこともあるため、より適切なアセスメントの手法などを知りたいと思う。 ・アセスメントの方法について、より適切なやり方がないか検討が必要と思う。 ・環境上、実現できない希望をこどもや保護者が望んでいることがあり、心苦しい。 ・客観的に分析できていないところもある。一人ひとり充分にアセスメントできていない場合もある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・会議や事例検討などの機会を設け、支援者間で共通認識を持てるよう努めている。	・児童が多すぎて、難しい面もある。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	・個別支援会議を開催し、支援計画の共有・意見交換などを行っている。	・児童が多すぎて、難しい面もある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	・個別支援会議を開催し、支援計画の共有・意見交換などを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・設問にある項目に沿って支援計画を立てている。	・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画にすることが難しい面もある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・各職員が立案した内容を照らし合わせて、各活動の実施の頻度やバランスを考慮して立案している。	・今後はしていく予定
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・設問17と同様。協議したうえで立案し、その際に内容の偏りや固定化しないように心掛けている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・毎日打ち合わせ（開始前）を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・毎日打ち合わせ（終了後）を行っている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・毎日記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・支援検討会も実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0		・努力しているが、日により傾きのある日もある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	・意思決定支援も含め支援している。 ・設定している活動や、過ごしの中で選択し、自己決定ができるよう支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		・会議の開催があまりないように思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		・医療との接点が少ないと感じており、積極的な連携をはかる。 ・日頃から相談支援事業所や学校、役場との連携に努めている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・事前の確認・情報共有と日々の連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	・事前に利用希望の児童の様子を施設に見に行って情報共有に努めている。 ・主に発達支援事業所と行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	・場合によっては移行支援会議にも出席して情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		・連携は薄い。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・近隣の学童との交流会を企画実施している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	・管理職が参加している。 ・情報交換会に参加	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・お迎え時に日々の様子を家族に伝えている。	・状況は伝えているが、課題の共通理解までは場面が違うので難しい場合もある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・保護者学習会を開催するとともに情報共有をはかっている。 ・今年度は2月に保護者学習会を企画・準備している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・面談時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・それぞれ尋ねている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・計画が更新される際は都度、面談を実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・必要に応じて面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	・保護者会や環境整備活動を実施し交流の機会を設けている。 ・保護者学習会の開催や、年二回の環境整備作業。また法人のイベントへの保護者会としての参加。 ・交流の機会としては実施していないが、行事やお迎え時に個別に話しかけるなどしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・対応の手順を作成し、その内容に沿って対応を行っている。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・定期通信、活動予定表は毎月発行している。	・HPやSNSでの発信は十分にできていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵付きロッカーなどに厳重に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・視覚支援やジェスチャーなど一人ひとりにあわせて配慮をしている。 ・各保護者の利便を考えてシステムを使用し、連絡をとっている。	・配慮はしているが、充分でないところもある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・地域のボランティアに特技を披露していただいたり、地元の高校生との交流を企画実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・年度始めに、保護者から医療に関する情報シートをいただき、更新している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・医師の指示書が必要な重篤なアレルギーの児童の利用は現在ない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・法人として虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・内容は個別支援計画に記載し、保護者への説明の際に同意をいただいている。		